

いよいよ今年から 2 コマでの講演です。

### 「技術士を知ろう！」 in 苫小牧高専

#### 1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営担当している「技術士を知ろう！」の第 3 弾です。

今回は、平成 29 年から継続実施している苫小牧工業高等専門学校(小牧高専)の 3 年生を対象に実施しました。

今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

苫小牧高専での「技術士を知ろう！」企画は、過去 3 年間、1 コマ(45 分)の授業時間をお借りして開催をしてきたのですが、今回、八田都市・環境系長のお力添えもあり、2 コマ(90 分)での実施となりました。

#### 2. プレゼンミーティング

ミライ研では、「技術士を知ろう！」の本番前に、必ずプレゼンミーティングを実施しております。

この実施目的は、プレゼン内容の確認はもちろんのこと、講演全体の構成内容等を含め、学生に伝わる内容になっているかをチェックするためです。

今回も、事前にプレゼンミーティングを実施したのですが、その時事件は起こりました。

筆者のプレゼンだけ出来が悪く、「今のままでは学生に伝わらない！」との非常事態宣言が出されたのです。あわや講演者差し替えという危機もありながら、プレゼンの修正を加え、本番当日を迎えました。

#### 3. 実施概要

開催日時：2019.7.2(火)9:00～10:35

講義内容：技術資格の説明、技術士とは？

技術士の仕事内容と役割(講演 2 編)

高専卒業後の仕事、働き方等

対象者：苫小牧工業高等専門学校 創造工学科

都市・環境系 3 年生 44 名

参加幹事：小澤、木本、千葉(記)(ミライ研 3 名)、

密山、巻口(青技交 2 名)

#### 4. 技術資格の説明、技術士とは？

司会進行を務めるのは、ミライ研の“武田真一アナ”こと、木本幹事長です。

いつもながらの安定した“まわし”と、状況に応じた適切なコメントが、会場の雰囲気や和らげます。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表(左)と安定した司会で場を支配する木本幹事長(右)

続いて登場するのが、我らが小澤代表です。

SNS へのグルメ投稿の多さと、成長を続ける体形から、青技交 facebook をざわつかせている代表ですが、そのふくよかな体形を武器に変え、学生達を技術士の世界に誘っていきます。

技術士資格の説明、技術士の役割、資格を持つことのメリット、社会人になってからの仕事をする上での重要性等の説明を行いました。

#### 5. 技術士の仕事内容と役割

##### (1) 技術士の仕事(巻口技術士)

具体的な仕事内容の紹介の 1 人目は、苫小牧高専 OB の巻口技術士から、河川分野のコンサルタントの仕事内容を紹介しました。

学生の皆さんと同じような学校生活を送ってきた人間が“「技術士」を取得できた現実がある”ということ。そして、“取得することでメリットが沢山ある”ということや、熱い思いを込めて語っていました。



写真-2 プレゼンの美しさ No.1 の巻口技術士

## (2) 技術士の仕事(密山技術士)

密山技術士からは、土木系コンサル、橋梁のメンテナンスに関する仕事の講演を行いました。

学生に向けて、様々な事象に対して「なぜ?」「どうして?」の習慣を身につけることや、自分の考えを持つことの重要性について説き、何事も続けることの素晴らしさや、コミュニケーションスキルの取得には、遊びも大事であると伝えていました。



写真-3 橋の世界の広さを語る密山技術士

## 6. 高専卒業後の仕事、働き方等

講演の最後は筆者(苫小牧高専 OB)より、高専卒業後の仕事や働き方等を紹介しました。

「学生に伝わらない」と酷評された内容でしたが、修正されたプレゼンでは、自身が高専生だった頃の写真で学生達の注意を引き、「学校・先輩は頼るものであり、後輩達からは頼られる人であれ」という名(迷!?)言を織り交ぜながら、資格を取得することで、自身のキャリアアップに変化が起こった経験などについて、裏話も交えながらの講演となりました。



写真-4 会場と一体となった千葉技術士(筆者)

## 7. まとめ

学生からの感想には「技術士は難しそうだと思っていたが、今回の講演を聞いて取ろうと思った。」「技術士を取るために勉強を続けていこうと思った。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。偶然にも、講演の翌日が技術士第1次試験の申込期日となっており、講演会後に願書を希望する学生が多数いたのが印象的でした。

アンケートでは、41人中34人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、43人中35人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また、「高専特有の良さというものを知れた。」「大人になり働き始めても勉強はし続けるものだと考えが改まった。」「色々話を聞いてタメになったし、やる気が出た。」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でともに4.5と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。

## 8. おわりに

本講演にあたり八田先生、中村先生を始め苫小牧高専関係者の皆様には、大変お世話になりました。

講演会後に行った八田先生との反省会の中では、先生の方から「実に面白かったし、学生の食い付きもとても良かった」とのお褒めの言葉を頂きました。

また、来年度の継続実施を要望されただけではなく、都市・環境系以外の学生も含めた全3年生(約200人)を対象とした講演会になる可能性も……

引き続き皆様方からのご指導、ご声援をどうぞよろしくお願い致します。